

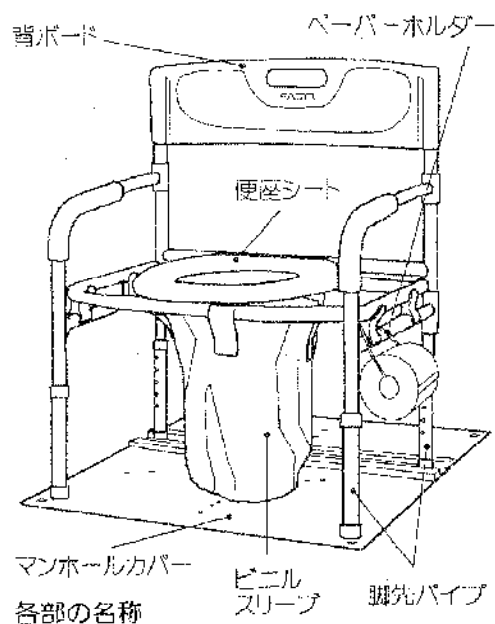
## ⑥ マンホールトイレ

# 災害用マンホールトイレ 洋式ワイドタイプ大型

## 取扱説明書

丸型マンホール内径20~60cm対応

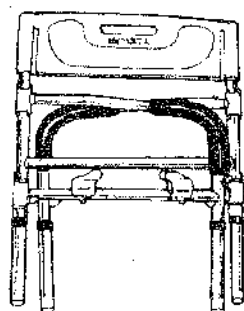
ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。



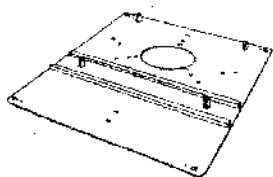
- \* このトイレを使用する場所(汚水マンホール)を事前に確認し、災害時には定められた場所に設置してご使用ください。
- \* このトイレはマンホールの内径が20cm以上60cm以下に対応しています。  
マンホール内径が60cmを超える場合には使用できません。
- \* 同梱されている部品の「ペグ」「簡易ハンマー」はサービス部品です。設置場所によっては、使用が難しい場合があります。事前に、設置場所の地面の状態をご確認いただき、状況に適した部品をご用意ください。

### 【ご使用前の確認】

・この災害用マンホールトイレには、下図の部品が梱包されています。組立前にご確認ください。



本体



マンホールカバー  
(内径20/24/30/40/50/60cm用)



簡易ハンマー



ペグ(4本)



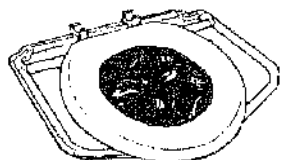
ペーパーホルダー



6角レンチ(1本)



コンクリート釘(4本)



便座シート(ビニルスリーブ付き)



位置決めボルト(3セット)

(ボルト・ナット・ワッシャー2枚)



スパナ(2本)



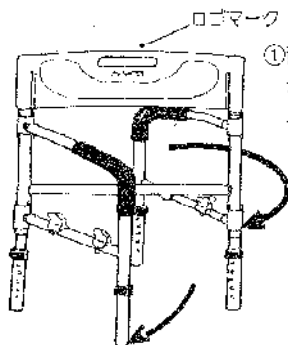
ペーパー(1巻き)

\* 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しております。

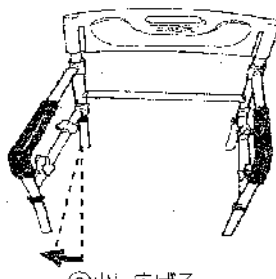
## 【組立方法】

### 1. 本体の組立準備

⚠ 指はさみ注意



①背ボードのロゴマークが正面を向くように手すりを回転させます。

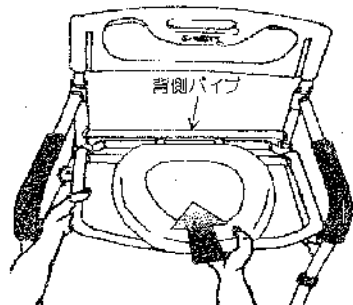


②左右どちらか片方の脚を少し開くと、便座シートをはめ込みやすくなります。  
(左図は右側の手すりを少し開いています。)

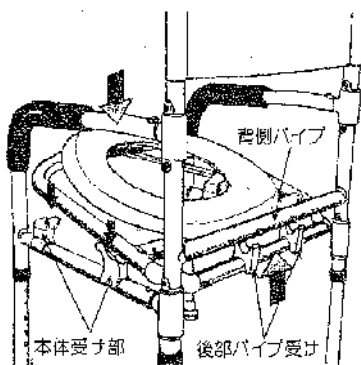
②少し広げる

### 2. 便座シートの取付

⚠ 指はさみ注意



①便座シートを両手でしっかりと持ち、便座シートの後部パイプ受けが、本体背側パイプにはまるように(便座シートを下側に斜めに)差込みます。

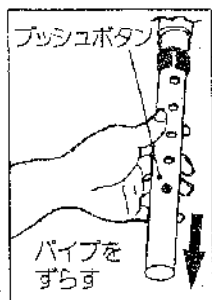


②少し開いた手すりを元に戻し、本体受け部のピン(左右4ヶ所)を便座シートのパイプ穴に合わせ、シートを上から押し、はめ込みます。

⚠ 注意 ●便座シートを取付けの際は、床や足の上に落とさないようにご注意ください。

### 3. プッシュボタン位置の調節

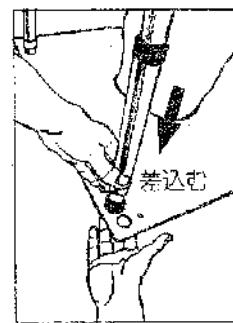
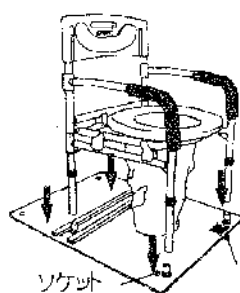
⚠ 指はさみ注意



上側4つの穴で  
高さ調整

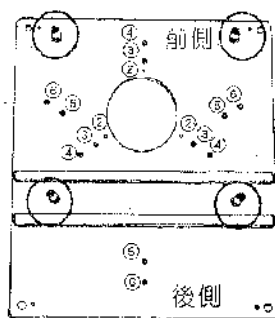
- ①プッシュボタンを押しながらパイプを下にずらします。
- 脚先パイプの一番下を除く上側4つの穴をご使用ください。  
便座の高さは40~47.5cmまで2.5cmずつ4段階調整ができます。
- ②プッシュボタンは穴から大きく出るまで、確実にセットしてください。本体をマンホールカバーに取付後、使用しやすい高さを確認してください。
- 脚先パイプ4本をすべて同じ高さに調節してください。
- 再調整する場合は、マンホールカバーから本体をはずしてプッシュボタンを確実にセットし直してください。

### 4. マンホールカバーへの取付

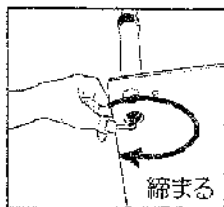


- ①本体の脚先とマンホールカバーのソケットを4ヶ所とも合わせて少し差込みます。
- マンホールカバーの「前」シールが貼られている方が前側になります。
- ②位置を確認後上から押し込み、4本の脚を同時にソケットの奥まで差込みます。
- 1脚だけ押し込むと他の脚が入りづらくなります。4脚を均等に差込んでください。

### 5-1. 脚固定用ボルトの締付



<表面から見た図>



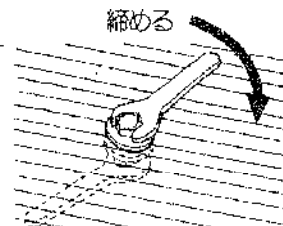
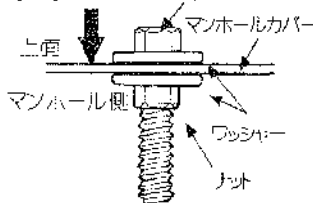
<左図の部拡大図>

本体を倒してマンホールカバーの裏面から、付属の六角レンチを使用して脚固定用ボルトを締付けます。4ヶ所(上図○位置)をしっかりと締付けてください。

### 5-2. 位置決めボルトの取付

《内径24～40cmのマンホールに設置する場合》

マンホール設置時の目安と横ズレ防止用に位置決めボルトを差込みます。



マンホールの内径が24cmの場合は②の穴に、30/40cmの場合はそれぞれ③④穴にプレート上面からボルトを3ヶ所に差込み、しっかりと締付けます。

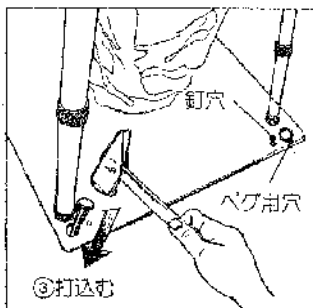
\* マンホールプレートの上画、プレート穴位置に番号シールが貼付けてあります。

\* 20cmのマンホール(汚水枳)など、小さなマンホールに設置する場合は位置決めボルトは使用しません。

### 6. トイレをマンホールに設置固定



①マンホールふたを外す。



③打込む

①マンホールのふたをはずします

②トイレをマンホール穴にはめ込みます

③ベグまたはコンクリート釘をマンホールプレートの4隅、4ヶ所に打込み本体を固定します。



●設置の際は転落に十分注意し、また、足を挟まないようにご注意ください。

一人での持ち運びが難しい場合は複数人で設置作業をしてください。

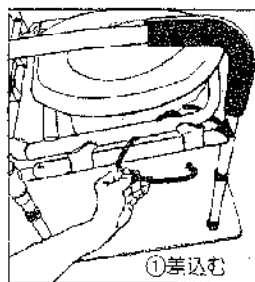
●設置面の状態により、付属のベグ、コンクリート釘、簡易ハンマーが使用できない場合があります。状況に応じて他のベグ、釘、アンカーや強力なハンマーを別途ご用意ください。設置面の状態は、事前に必ずご確認ください。

●簡易ハンマーを使用してベグを打込む際は、打撃面をベグに垂直に当てるようにして打込んでください。簡易ハンマーを斜めに当てたり、ベグを無理に打込むと、ベグ、簡易ハンマーが破損する原因になります。

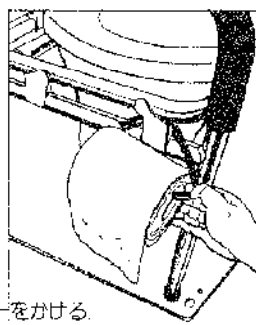
付属のベグは土などの比較的柔らかい地面用です。乾いて固められたり石など混ざっている土などではうまく打込めないことがあります。この場合、無理に打込まず、他の金具、ハンマーを使用して固定してください。

●ハンマーで指をたたくなど、ケガには十分ご注意ください。

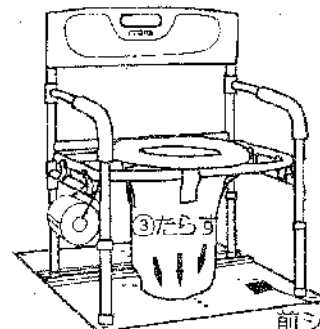
### 7. ペーパーの取付(設置完了)



①差込む



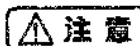
②ペーパーをかける。



前シール



①ペーパーホルダーを差込み  
本体受け部に引っかけます

②ホルダーを広げてペーパーを取付けます。 ③ビニルスリーブをマンホールの穴の中にとらす。  
\* ペーパーが向りにくい時は、ホルダーの します。  
形を整えてからご使用ください。



●設置後に、マンホールプレートの前後方向と(前シールが貼られている方が前になります)  
トイレ本体が地面にしっかりと固定されていることを確認します。

【警告表示の説明】 \*安全のために必ずお守りください

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【使用上の警告と注意】

＜組立・設置について＞

 **警告**

1. 組立の際、脚先パイプの PUSH ボタンが大きく飛び出た状態に固定されていることをご確認ください。  
→ PUSH ボタンが固定されていないと、転倒など思わぬ事故の原因になります。
2. 4本の脚先パイプをすべて同じ高さ（脚先パイプの真ん中の穴）に PUSH ボタンの位置を調節してください。  
→ 本体ががたつき、安定せず転倒など思わぬ事故の原因になります。
3. 内径24/30/40/50cmのマンホールでご利用の際、ボルトの取付け忘れがないようにご注意ください。  
→ トイレがずれて、転倒など思わぬ事故の原因になります。
4. マンホールカバーの脚ソケットに、本体脚を奥までしっかりと差込んでください。  
→ 使用時に本体がはずれて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
5. マンホールにトイレを設置する際は、足元に十分ご注意ください。  
→ 転倒して、マンホールに落ちるなど思わぬ事故の原因になります。
6. マンホールカバーは、コンクリート釘、またはペグで動かないように固定してください。設置される場所によっては、付属のサービス部品の使用が難しい場合があります。事前に、状況に適した部品をご用意いただき製品をご利用ください。  
→ 転倒など思わぬ事故の原因になります。

 **注意**

7. 組立の際にパイプに指をはさんだり、ハンマーで指をたたくなどのケガには十分ご注意ください。組立ての際には軍手などをするをおすすめします。
8. ビニルスリーブをマンホールの穴にねじれないように差込んでください。

＜使用について＞

 **警告**

1. この災害用マンホールトイレは、災害時にマンホールに設置して使用するトイレです。この用途以外には使用しないでください。
2. マンホールカバーの上で飛び跳ねるなど、乱暴な取扱いはいしないでください。
3. 使用の際は、便座シートの中央に座りご使用ください。手すりや座面に偏った力をかけないでください。  
→ マンホールカバーから本体が抜けたり、地面から浮きあがり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
4. 製品に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品などに取替える等の改造は絶対しないでください。
5. お年寄りや小さなお子さまがご使用される場合は、必ず介助される方が付き添いご使用ください。
6. 定期的なトイレの固定状態をご確認ください。ずれやゆるみがある場合は固定し直してください。
7. マンホールトイレ付近の安全に十分ご注意ください。

＜お手入れ、その他について＞

 **注意**

1. 本体の汚れを落とす際には、シンナーやベンジンを使用しないでください。水またはうすめた中性洗剤を含ませた布を絞って使用し、拭き終わりましたら乾いた布で水気を拭き取ってください。また、金ブラシやたわしなどはキズなどの原因になりますので、使用しないでください。
2. 汚物などで汚れた場合はゴム手袋をして、水または市販のトイレ用洗剤などで早めに汚れを落としてください。
3. 万一、製品に破損、変形等の異常が現れた場合は、使用を中止して販売店または＜製品についてのお問合せ先：下記＞までお問合せください。お客様ご自身での修理は絶対しないでください。

本体重量：約13.5kg

サイズ：W670×D750×H770～845mm

（4段階調節）

## ⑦ マンホールトイレ用テント (シングル)

### [部品一覧]



### フレームの組み立て

#### 1. 曲げパイプをセンターコネクターに差し込みます



#### 2. 柱パイプを組み立てます



### 3. 曲げパイプに柱パイプを差し込みます



① 曲げパイプに柱パイプを差し込みます。



② 組み立てがしにくい場合は横にした状態で組み立てをしてください。



③ 骨組み完成

### **テント生地取付**

### 4. この状態でテント生地をかぶせ、整えます



生地ファスナーを開いて被せます



生地位置を整え十分に引き下げます。

### 5. 生地下側の四隅にある金具をパイプに差し込みます



生地四隅のリングの先にある金属棒を折り返すようにしてパイプの中に差し込みます



中に入った状態

## 6.床パイプを取り付けて完成



フックを柱パイプに取り付けます  
入り口面は低くします。



組み立て完成

### ※補足

#### NEW!!

センターコネクターに吊り下げ用の穴(φ6)が追加となりました。  
フック等で照明が簡単に取り付けできます。



テント上方(軒部分)のフックを利用して  
付属のロープ等で建物や樹木等に固定でき  
ます(風対策)

テント下部のフックに付属のペグを  
打ち込み、土などに固定ができます。  
付属のペグやハンマーが使用出来ない  
場合は別途ご用意をお願いします

#### PTAS仕様

本体サイズ：W100×D100×H188 入り口サイズ95×170cm 前面ジッパー開閉式。重量：5kg

「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、小物入れ、床固定用フック、強風用フック、

付属品：ロープ4本、スチールペグ4本、簡易ハンマー1本

材質：テント生地/(上部)ポリエステル150D・PU防水加工

(サイド)ポリエステル150D・シルバーコーティング加工

フレーム：スチール

**株式会社イーストアイ**

PTAS組立手順140829

# ⑦ マンホールトイレ用テント (ダブル)

## 「部品一覧」



## フレーム組み立て

### 1. 屋根部分を準備します。



棟パイプ (頂上部分)  
(白コネクター付)



桁パイプ (軒部分) (青、赤コネクター付)  
(コネクターにGABLE・LEGの文字)



折りたたまれている  
棟パイプ・桁パイプを  
広げて繋げます。



棟パイプを中央に置き、両脇に桁パイプを、  
置きます。桁パイプコネクターの  
GABLE側が棟パイプを (頂上)  
向くようにしてください。

## 2.合掌パイプを差し込み、屋根の骨組みを完成させます。



棟パイプコネクターと  
桁パイプコネクターの（GABLE）を  
合掌パイプで結びます。

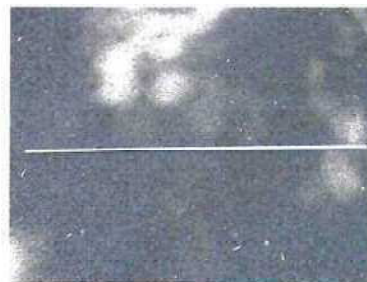


骨組み完成

## 3.柱パイプを連結させ、つなげます。



折りたたまれている連結部分を  
しっかりとつなげます。



連結完了

## 4.柱パイプをコネクターに差し込み、骨組み全体を完成させます。



桁パイプコネクターのLEGの穴に  
柱パイプを差し込みます。



組み立てがしにくい場合は  
先に片方を差し込みます。



骨組み完成状態

## テント生地を取付

### 5.生地をかぶせ、整えます。



ファスナーを開いて生地をかぶせます。



生地四隅にある「あて布」が、コネクターにあたるよう生地を引き下げ位置を調整します。

### 6.生地四隅の金属棒をパイプに差し込みます。



生地四隅の下側に金属棒があります。  
生地を真下に引っ張りながら金属棒の先をパイプの中に差し込みます。

中に入った状態

### 7.生地内側のベルクロをパイプに巻き付けて完成。



柱パイプ、桁パイプにあるベルクロをパイプに巻き付け  
組み立て終了です。  
入り口や換気窓のファスナーの動作を確認してください。

## 補足



締め切り



半開放



全開放



テント上方（軒部分）のフックを利用して、付属のロープで地面や建物や樹木等に固定ができます。尚、付属のペグ・ハンマーはサービス部品ですので、設置する場所によっては使用できない場合があります。その場合は重しやアンカーなど状況にあわせた固定部品を別途ご用意ください。



テント下方のフックはペグ打ち込みや重しの結びつけなどに使用します。付属のペグが使用できない場合は別途ご用意ください。

### PTAL仕様

本体サイズ：W260×D185×H207    入口サイズ：207×170cm    重量：7.5kg

前面ジッパー開閉式で半開放、全開放対応可能。「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、床固定フック、強風フック、小物入れ

付属品   ：ロープ4本、スチールペグ7本、簡易ハンマー1本

材質       ：テント生地/（上部）ポリエステル150D・PU防水加工  
              （サイト）ポリエステル150D・シルバーコーティング加工

フレーム   ：スチール

**株式会社イーストアイ**

PTAL組立手順140820

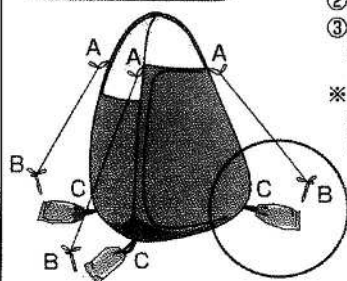
## ⑧個室テント

(110cm×110cm×190cm)

授乳室、更衣室、トイレなど色々な使用用途を想定

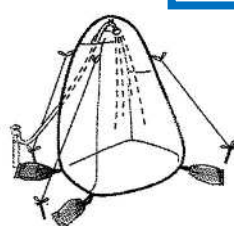


### 【組み立て方】

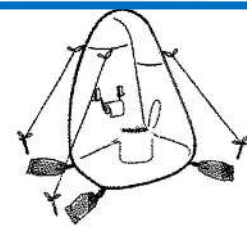


- ①テント入口面を前にし横に開く
- ②砂袋に砂を入れC部4隅に結ぶ
- ③B部にペグを打込み、A・B部を紐で結んで連結する

※注スプリングワイヤーは強く反動します、他へ当たらないようご注意ください。

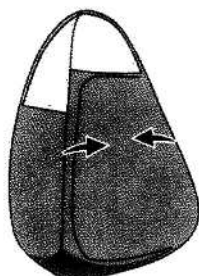


シャワーの時はテント後側の開口部より水道直結パイプをテント内側に入れ上部紐で放水口を固定する



トイレの時はテント内側、側面にロールペーパー用の金具を取りつけロールペーパーをかける

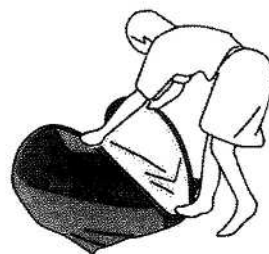
### 【納め方】



- ①紐・砂袋を外し、テント入口の両サイドのスプリングワイヤー(骨)部を引寄せ平らにする



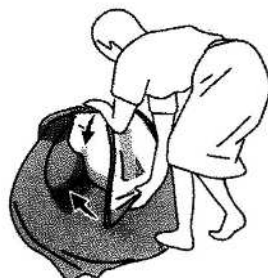
- ②テント上側のスプリングワイヤー(骨)部を手前に折る



- ③手前に折った先端を重ね足で固定する



- ④輪になった両サイドを内側に入れ重ねる



- ⑤輪になった両サイドを片方の手で持ち足で固定したテント上側のスプリングワイヤー(骨)部を内側に押込み円形にする



- ⑥形を整える



- ⑦収納袋に入れる

## ⑨間仕切り

(段ボール製・ナイロン製)

1室約2畳程度の広さ（高さ約1m）があり、お年寄りや、乳幼児があるご家族など、プライバシーに配慮した使用を想定しています。



←段ボール製

完成寸法

W200×D200×H90

[cm]

一箱に2室入れて保管

ナイロン製→

完成寸法

W210×D210×H100

[cm]

収納時：直径 63 [cm]

約 3.8 kg



サイズ:

- ☒ 210x210x100cm
- ☐ 210x210x120cm
- ☐ 210x210x140cm
- ☐ 210x210x180cm

付属品: ビンペグ.....4本 ポート消し.....1コ 表札.....1枚 伝言板.....1枚  
マジックペン.....1本 多目的シート.....1枚

### 組立方法



1. 収納袋から出します。



2. 正面前方のフレームを引上げます。

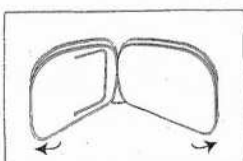


3. 立ち上がったフレームを手で広げます。

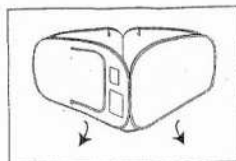


4. 90°回転させてフレームの曲がり強い方を下にして設置して下さい。

(これで自動的に立ち上がります。)



5. フレームを90°程度開きます。



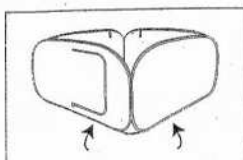
6. マジックテープを外し、奥のフレームを引き出して正方形になるよう形を整えて下さい。



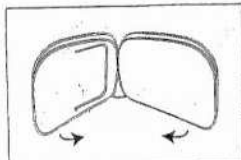
7. これで完成です。

連結する場合は、同じ色のマジックテープで固定します。必要に応じて付属のペグで四隅を固定して下さい。

### 収納方法



1. 四隅のペグを抜き、コーナー部分を内側に押し込み二つ折りにします。



2. 両サイドのフレームをあわせます。



3. フレームを立てた状態で上部を前方に折り曲げて下さい。  
(地面に接地している部分が動かないようにします。)



4. 折り曲げた部分を両手で絞り両サイドのフレームを片手でおさえます。



5. あいている方の手で前方のフレームを内側に回し込んで下さい。



6. 円を重ねるように形を整え置きます。



7. 収納袋に入れて出来上がりです。

使用した付属品は必ず所定の場所に収納して下さい。

※注意 ご使用される前に、必ず本体設営の練習を、広い場所で行って下さい。フレームがなじむまで固く感じられる事もありますが、商品上問題はありません。

※使用時にはマナーを守りましょう。撤去の際には、ゴミ・空き缶等は整理して持ち帰りましょう。

## ルーム設営及び撤去上の注意

## 火気厳禁

- 設営場所は安全でなるべく水はけのよい平坦地に設営して下さい。
- ルーム内は火気厳禁です。ルーム外部も火気には充分注意して下さい。喫煙や炊飯は非常に危険です。決められた場所で行って下さい。
- 設営は周囲（特にお子様）の安全に注意しながら行って下さい。
- ペグ等を使う場合、ケガをしないよう注意して下さい。
- 屋外で使用する場合は、ペグ等で固定して下さい。
- たたむ時は、内部をよく掃除し、空気をよく出してたたんで下さい。
- ルーム生地は特殊防水加工をしていますが縫製品ですので完全ではありません。
- ペグなどの付属品を必ず確認し、不足品は次回の為に補充するようにして下さい。
- 本製品は、避難時におけるプライバシーを守るために製作されたパーティションルームです。

## ⑩避難所用マット



(1m×20m×厚み 8 mm)

クッション性・保温性があり、体育館での下敷マットとしての使用を想定しています。

## ⑪避難所開設セット（防災倉庫内または公民館事務室内）

避難所開設時のマニュアルやその他必要と思われる物が入っています。

ロープ、テープ、ベスト、腕章、筆記用具、避難者カード、「避難所運営マニュアル」等



## ⑫防雨シート

(5.4m×5.4m)

体育館の床敷きとしての使用や、  
雨漏り対策など、色々な使用用途  
を想定しています。  
ブルーシートの事です。



## ⑬発動発電機



電気やガスの供給がストップ  
した場合の対策として、整備しています。

コミセンで保管しているものと異なります。

## ⑭投光器セット



## ⑮コードリール

## ⑯保存用ガソリン（1缶1ℓ入り）

段ボール1箱に4缶入りで保管（ガソリンは、車に使用する物と同様）。  
「発動発電機」使用時に、ガソリンを使用する。

## ⑰カセットガスボンベ（ガス式発動発電機に使用）

# ⑬発動発電機簡易取扱説明書

## 【発動発電機の概要】



使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	12.7ℓ
定格出力	(交流) 2400W (VA) (直流) 120W
定格電圧	(交流) 100V (直流) 12V
定格電流	(交流) 24A (直流) 10A
連続運転可能時間 (h)	約 20 [1/4 負荷] ～約 7.2 [定格負荷]

## 【操作盤】



単相 100V コンセント  
(最大 15A)

単相 100V コンセント

① 燃料コックレバー

② チョークノブ

③ エンジンスイッチ

## 【操作方法】

### 〈発電機のかけ方〉

- ① 燃料コックレバーを  
“出” の位置にする。
- ② エンジン冷間時は、チョークノブを  
“始動” の位置の方向に引く。



- ③ エンジンスイッチを  
“運転” の位置に合わせる。



- ④ 始動グリップを引き、重くなる所を探し、勢いよく引く。

重くなる所  
で一旦止める。



勢いよく引く。



- (注) ・ 始動グリップはゆっくりと元に戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。  
・ 運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響を与えます。

- ⑤ 始動後、エンジンの回転が安定するのを確認しながらチョークノブを徐々に戻し、暖気運転を行う。暖気運転をするとエンジン回転が安定し、電圧変動が少なくなります。

#### 〈発電機の止め方〉

##### ※緊急停止の場合

エンジンスイッチを“停止” の位置にする。

##### ※通常の停止の場合

- ① 電気機器のスイッチを切る。
- ② プラグをコンセントから抜く。
- ③ エンジンスイッチを“停止” の位置にする。
- ④ 燃料コックレバーを“止” の位置にする。

(注) キャブレーター内にガソリンが残ったままの状態が続くと、ガソリンが変質して故障することがあります。

##### ※停止後に長期間使用しない場合

- ① 電気機器のスイッチを切る。
- ② プラグをコンセントから抜く。
- ③ 燃料コックレバーを“止” の位置にし、エンジンが自然に停止するのを待つ。
- ④ エンジンスイッチを“停止” の位置にする。

☆その他、詳細については「取扱説明書」がありますのでご確認ください。

# ⑬発動発電機簡易取扱説明書(ガス式)

## 【発動発電機の概要】



使用燃料	L P G (液化ブタン)
定格出力	(交流) 900W (VA)
定格電圧	(交流) 100V
定格電流	(交流) 9A
連続運転可能時間 (h)	約 2.2 [1/4 負荷] ～約 1.1 [定格負荷]

## 【操作盤】



エンジンスイッチ

始動グリップ



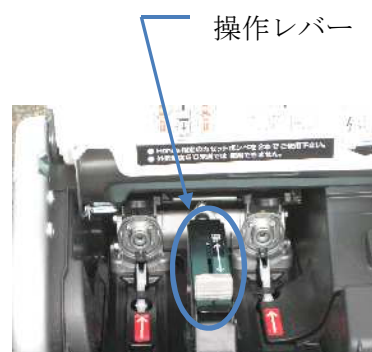
100V交流コンセント  
(最大9V)

エコスロットルスイッチ

## 【操作方法】

### 〈発電機のかけ方〉

- ①カセットボンベを取付けます。
  - ・ボンベカバーを開ける
  - ・操作レバーが解除の位置にあることを確認する。
  - ・カセットボンベキャップを外し、赤いラインを下にして2本セットする。
  - ・カセットボンベが連続して回転しないことを確認
  - ・操作レバーを「解除」から「固定」にスライドさせる。
  - ・ボンベカバーを閉じる。



操作レバー



- ② エンジンスイッチを「運転」の位置に合わせる。



- ③ 始動グリップを引き、重くなる所を探し、勢いよく引く。



(注)・始動グリップはゆっくりと元に戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

- ・運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響を与えます。

- ① 始動後、約1分間暖気運転を行ってください。  
暖気運転をするとエンジン回転が安定し、電圧変動が少なくなります。

#### 〈発電機の止め方〉

##### ※緊急停止の場合

エンジンスイッチを“停止”の位置にする。

##### ※通常の停止の場合

- ① 電気機器のスイッチを切る。
- ② プラグをコンセントから抜く。
- ③ エンジンスイッチを‘停止’の位置にする。
- ④ カセットボンベの取り外しを行う。
  - ・ボンベカバーを開ける。
  - ・操作レバーを「固定」から「解除」へ、スライドさせる。
  - ・カセットボンベを手前側から取り外す。
- ⑤ 配管内の残留ガス使い切りを行う。
  - ・エンジンスイッチを「運転」にする。
  - ・始動グリップを引いてエンジンを始動する。
  - ・エンジンが停止するまで運転をする。
  - ・エンジンが停止したら、エンジンスイッチを「停止」にする。

☆その他、詳細については「取扱説明書」がありますのでご確認ください。